

◎令和 7 年度 江戸川区立篠崎第五小学校 第 1 学年体育科 評価規準

【第 1 学年】

目標

- （１）各種の運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、基本的な動きを身に付けるようにする。
- （２）各種の運動遊びの行い方を工夫するとともに、考えたことを他者に伝える力を養う。
- （３）各種の運動遊びに進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、健康・安全に留意したりし、意欲的に運動をする態度を養う。

A 体づくりの運動遊び

〔学習指導要領の内容〕

- (1)次の運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、体を動かす心地よさを味わったり、基本的な動きを身に付けたりすること。
 - ア 体ほぐしの運動遊びでは、手軽な運動遊びを行い、心と体の変化に気付いたり、みんなで関わり合ったりすること。
 - イ 多様な動きをつくる運動遊びでは、体のバランスをとる動き、体を移動する動き、用具を操作する動き、力試しの動きをすること。
- (2)体をほぐしたり多様な動きをつくったりする遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えること。
- (3)運動遊びに進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、場の安全に気を付けたりすること。

単元	目 標	観点別評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
体ほぐしの運動遊び	・みんなでいろいろな運動を行い、体を動かす楽しさや気持ちよさを味わう。	・体ほぐしの運動遊びの行い方がわかる。 ・手軽な運動遊びを行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わうことを通して、自己の心と体の変化に気付いたり、みんなで関わり合ったりすることができる。	・友達の感想や気付きを聞いたり、友達の動きを見たりして、できそうな運動遊びや友達と一緒に行動と楽しい運動遊びを考え、選んでいる。 ・いろいろな種類の用具の中から操作しやすい物を考えて選んだり、楽しく動くことができる場を考えて選んだりしている。 ・体を動かすと気持ちがいよことや汗が出ることなどの気付いたことを言葉で表したり、気持ちを表すカードなどを用いたりして、友達に伝えている。	・体ほぐしの運動遊びに進んで取り組んでいる。 ・順番やきまりを守り、誰とでも仲よくしている。 ・使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・危険物が無いか、友達とぶつからない十分な間隔があるかなどの場の安全に気を付けている。

単元	目 標	観点別評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
多様な動きをつくる運動遊び	・バランスをとったり、体を移動したり、物を使ったり、力を試したりしたいろいろな動きをして、その動きを工夫する。	・多様な動きをつくる運動遊びの行い方がわかる。 （ア）体のバランスをとる運動遊び 姿勢や方向、人数を変えて、回る、寝転ぶ、起きる、座る、立つなどの動きやバランスを保つ動きで構成される運動遊びを通して、体のバランスをとる動きを身に付けている。 （イ）体を移動する運動遊び 姿勢、速さ、リズム、方向などを変えて、這う、歩く、走る、跳ぶ、はねるなどの動きで構成される運動遊びや一定の速さでのかけ足などの運動遊びを通して、様々な行い方で体を移動する動きを身に付けることができる。 （ウ）用具を操作する運動遊び 用具をつかむ、持つ、降ろす、回す、転がす、くぐる、運ぶ、投げる、捕る、跳ぶ、用具に乗るなどの動きで構成される運動遊びを通して、用具を操作する動きを身に付けることができる。 （エ）力試しの運動遊び 人を押す、引く、運ぶ、支えるなどしたり、力比べをしたりするなどの動きで構成される運動遊びを通して、力を出しきったり、力を入れたり緩めたりする力試しの動きを身に付けることができる。	・友達の感想や気付きを聞いたり、友達の動きを見たりして、できそうな運動遊びや友達と一緒に行動と楽しい運動遊びを考え、選んでいる。 ・いろいろな種類の用具の中から操作しやすい物を考えて選んだり、楽しく動くことができる場を考えて選んだりしている。 ・友達の動きを見て見付けたよい動きや、行ってみて楽しいと感じた運動遊びの行い方を友達に伝えている。 ・用具の大きさや種類を変えたり、様々なやり方を試したりして選んだ行い方を、動作を交えながら友達に伝えている。	・多様な動きをつくる運動遊びに進んで取り組んでいる。 ・順番やきまりを守り、誰とでも仲よくしている。 ・使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・危険物が無いか、友達とぶつからない十分な間隔があるかなどの場の安全に気を付けている。

B 器械・器具を使つての運動遊び

[学習指導要領の内容]

- (1)次の運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、その動きを身に付けること。
- ア 固定施設を使った運動遊びでは、登り下りや懸垂移行、渡り歩きや跳び下りをする事。
- イ マットを使った運動遊びでは、いろいろな方向への転がり、手で支えての体の保持や回転をする事。
- ウ 鉄棒を使った運動遊びでは、支持しての揺れや上がり下り、ぶら下がりがや易しい回転をする事。
- エ 跳び箱を使った運動遊びでは、跳び乗りや跳び下り、手を着いてのまたぎ乗りやまたぎ下りをする事。
- (2)器械・器具を用いた簡単な遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えること。
- (3)運動遊びに進んで取り組み、順番やきまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、場や器械・器具の安全に気を付けたりすること。

単元	目 標	観点別評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
固定施設遊び	・ジャングルジム、登り棒の遊び方を知って、いろいろな遊びを試してみる。	・固定施設を使った運動遊びの行い方がわかる。 ○ジャングルジムを使った運動遊び ・登り下り、渡り歩き、ぶら下がりなどを行うことができる。 ○登り棒を使った運動遊び ・登り下りや足抜き回りなどを行うことができる。	・それぞれの固定施設を使って、楽しくできる場や自分の力に合った遊び方を考え、選んでいる。 ・友達のよい動きを擬態語や擬音語で表現したり、学習カードに書いたりしている。	・固定施設遊びに進んで取り組んでいる。 ・順番やきまりを守り、誰とでも仲よくしている。 ・器械・器具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・跳び下りたりするときなどに、危ないものが無いか、近くに人がいないか、器械・器具が安全に置かれているかなどの場の安全に気を付けている。

単元	目 標	観点別評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
マット遊び・肋木遊び	・マットを使っていろいろな遊びをする。 ・肋木の遊び方を知って、いろいろな遊びを試してみる。	・マットを使った運動遊びの行い方がわかる。 ○ゆりかご、前転がり、だるま転がり、丸太転がりなど。 ・マットに背中や腹をつけて揺れたり、いろいろな方向に転がったりすることができる。 ○うさぎ跳び、かえるの足打ち、壁登り逆立ち、支持での川跳びなど。 ・手や背中で体を支えているいろいろな姿勢で逆立ちしたり、移動したりすることができる。 ○肋木を使った運動遊び ・登り下りや横移動、壁登り逆立ちなどを行うことができる。	・複数のコースでいろいろな方向に転がることができるような場を選んだり、動物に変身して行う運動遊びの中から動物の動きを選んだりしている。 ・友達のよい動きを擬態語や擬音語で表現したり、学習カードに書いたりしている。	・マット遊びに進んで取り組んでいる。 ・順番やきまりを守り、誰とでも仲よくしている。 ・器械・器具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・転がったりするときなどに、危ないものが無いか、近くに人がいないか、器械・器具が安全に置かれているかなどの場の安全に気を付けている。

単元	目 標	観点別評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
鉄棒遊び	・鉄棒の遊び方を知って、いろいろな遊びを試してみる。	・鉄棒を使った運動遊びの行い方がわかる。 ○ふとん干し、さる、だんごむし、ぶら下がりなど。 ・腹や膝、手でぶら下がったり、揺れたりすることができる。 ○つばめ ・体を伸ばし手で支えバランスをとって止まることができる。 ○前回り下り、足抜き回り ○跳び上がり、後ろ跳び下り ・跳び上がって支持して下りたり、支持の姿勢で体を揺らして後ろに跳び下りたりすることができる。 ・支持の姿勢から体を丸めて前に回って下りたり、両手でぶら下がり前後に足抜き回りをしたりすることができる。	・手や足、腹でぶら下がった姿勢でじゃんけんをしたり、支持して体を揺らして遠くへ跳ぶ競争をしたりするなど、自分の力に合った楽しくできる遊び方を考え、選んでいる。 ・友達のよい動きを擬態語や擬音語で表現したり、学習カードに書いたりしている。	・鉄棒遊びに進んで取り組んでいる。 ・順番やきまりを守り、誰とでも仲よくしている。 ・器械・器具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・跳び下りたりするときなどに、危ないものが無いか、近くに人がいないか、器械・器具が安全に置かれているかなどの場の安全に気を付けている。

単 元	目 標	観点別評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
跳 び 箱 遊 び	・いろいろな飛び方で跳んだり、飛び方を工夫したりして楽しむ。	・飛び箱を使った運動遊びの行い方がわかる。 ○踏み越し飛び ・片足で踏み切って飛び箱に飛び乗ったり、ジャンプをして飛び下りたりすることができる。 ○支持でまたぎ乗り・またぎ下り、支持で飛び乗り・飛び下り ・数歩の助走から両足で踏み切り、飛び箱に両手を着いてまたぎ乗ったり、またいだ姿勢で手を支点に体重を移動させてまたぎ下りたりすることができる。 ・数歩の助走から両足で踏み切り、飛び箱に両手を着いて両足で飛び乗ったり、ジャンプをして飛び下りたりすることができる。 ○馬跳び、タイヤ跳び ・両手で支持してまたぎ越すことができる。	・飛び乗った後、手を叩いたり、回ったりなど自分の力に合った着地の仕方を考え、選んでいる。 ・友達のよい飛び方を擬態語や擬音語で表現したり、学習カードに書いたりしている。	・飛び箱遊びに進んで取り組んでいる。 ・順番やきまりを守り、誰とでも仲よくしている。 ・器械・器具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・飛び下りたりするときなどに、危ないものが無いか、近くに人がいないか、マットや飛び箱などの器械・器具が安全に置かれているかなどの場の安全に気を付けている。

C 走・跳の運動遊び

[学習指導要領の内容]

- (1)次の運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、その動きを身に付けること。
- ア 走の運動遊びでは、いろいろな方向に走ったり、低い障害物を走り越えたりすること。
- イ 跳の運動遊びでは、前方や上方に跳んだり、連続して跳んだりすること。
- (2)走ったり跳んだりする簡単な遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えること。
- (3)運動遊びに進んで取り組み、順番やきまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、場の安全に気を付けたりすること。

単元	目 標	観点別評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
かけっこ	・いろいろなくねくねコースを作って走ったり、友達の作ったコースを走ったりする。	・くねくねコースを走るかけっこの行い方がわかる。 ・まっ直ぐなところや蛇行したところを調子よく走ることができる。 ・最後まで全力で走ることができる。	・直線や曲線、ジグザグなどいろいろなくねくね走のコースを工夫して作っている。 ・くねくね走の感想や走り方のポイント、友達のよい走り方を書いたり、発表したりして友達に伝えている。	・かけっこに進んで取り組んでいる。 ・順番やきまりを守り、誰とでも仲よくしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・走る場所に危険物が無いか、友達とぶつからない十分な間隔があるかなどの場の安全に気を付けている。

単元	目 標	観点別評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ハードルリレー	・いろいろなコースを作って走って跳び越したり、リレーをしたりする。	・ハードルリレーの行い方がわかる。 ・いろいろな間隔に並べられた低い障害物を走り越えることができる。 ・相手の手の平にタッチをして走ることができる。 ・低い障害物を置いた蛇行したコースやまっ直ぐなコースをバランスよく最後まで調子よく走り越すことができる。	・ハードルリレーのコースを工夫して作っている。 ・ハードルリレーの感想や走り方のポイント、友達のよい走り方や引き継ぎ方を書いたり、発表したりして友達に伝えている。	・ハードルリレーに進んで取り組んでいる。 ・順番やきまりを守り、誰とでも仲よくしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・走る場所に危険物が無いか、友達とぶつからない十分な間隔があるかなどの場の安全に気を付けている。

単元	目 標	観点別評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
幅跳び遊び	・いろいろな川を作って跳んだり、跳び比べをしたりする。	・幅跳び遊びの行い方がわかる。 ・片足跳びや両足跳びでしっかり地面を蹴っていろいろな川を連続して前方に跳ぶことができる。 ・助走を付けて片足でしっかり地面を蹴って前方に跳ぶことができる。	・幅跳び遊びのいろいろな場を工夫して作っている。 ・自分の力に合った跳ぶ場を選んでいる。 ・幅跳び遊びの感想や跳び方のポイント、友達のよい跳び方を書いたり、発表したりして友達に伝えている。	・幅跳び遊びに進んで取り組んでいる。 ・順番やきまりを守り、誰とでも仲よくしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・跳ぶ場所に危険物が無いか、友達とぶつからない十分な間隔があるかなどの跳ぶ場所の安全に気を付けている。

D 水遊び

〔学習指導要領の内容〕

- (1)次の運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、その動きを身に付けること。
- ア 水の中を移動する運動遊びでは、水につかって歩いたり走ったりすること。
- イ もぐる・浮く運動遊びでは、息を止めたり吐いたりしながら、水にもぐったり浮いたりすること。
- (2)水の中を移動したり、もぐったり浮いたりする簡単な遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えること。
- (3)運動遊びに進んで取り組み、順番やきまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、水遊びの心得を守って安全に気を付けたりすること。

単元	目 標	観点別評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
水遊び	・約束を守って、いろいろな水遊びをする。	【水の中を移動する運動遊び】 ・水の中を移動する運動遊びの行い方がわかる。 ・胸まで水につかって大きく息を吸ったり吐いたりすることができる。 ・水を手ですくって体のいろいろな部分にかけたり、いろいろな方向に飛ばしたり、友達と水をかけ合ったりすることができる。 ・カニ、ウサギ、ワニなど動物のまねをしながら歩いたり、腰や膝を伸ばした一直線の姿勢になり手を使って歩いたりすることができる。 ・水につかっての電車ごっこや鬼遊びなどで、水の抵抗や浮力に負けないように、自由に歩いたり走ったり、方向を変えたりすることができる。 【もぐる・浮く運動遊び】 ・もぐる・浮く運動遊びの行い方がわかる。 ・水に顔をつけたり、もぐって目を開けたりすることができる。 ・水中で息を止めたり吐いたりしながらじゃんけんやにらめっこ、宝探しなどのもぐる遊びをすることができる。 ・浮力に負けないように、手や足を使っていろいろな姿勢でもぐることができる。 ・壁や補助具につかまったり、友達に支えてもらったりしていろいろな姿勢で浮くことができる。 ・補助具や友達につかまり、体を伸ばした姿勢にして浮いて進むことができる。 ・息を吸って止め、全身の力を抜いていろいろな姿勢で浮くことができる。	・自分の力に合った水の中でできる動物の動きを選んだり、友達を選んだ動物の動きを取り入れたりしている。 ・試した動物の動きや、友達が行った動物のよい動きを伝えている。 ・楽しくできる水遊びの場や遊び方を工夫し、選んでいる。 ・友達の水中でのよい移動の仕方やもぐり方・浮き方を見付けたり、考えたりしたことを友達に伝えている。	・水遊びに進んで取り組んでいる。 ・順番やきまりを守り、誰とでも仲よくしている。 ・使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・準備運動や整理運動をしっかり行う、丁寧にシャワーを浴びる、プールサイドは走らない、プールに飛び込まない、友達とぶつからないように動くなどの水遊びの心得を守っている。また、水遊びをする前には、体（爪、耳、鼻、頭髮等）を清潔にしている。

E ゲーム

〔学習指導要領の内容〕

- (1)次の運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、易しいゲームをすること。
ア ボールゲームでは、簡単なボール操作と攻めや守りの動きによって、易しいゲームをすること。
イ 鬼遊びでは、一定の区域で、逃げる、追いかける、陣地を取り合うなどをする事。
- (2)簡単な規則を工夫したり、攻め方を選んだりするとともに、考えたことを友達に伝えること。
- (3)運動遊びに進んで取り組み、規則を守り誰とでも仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、場や用具の安全に気を付けたりすること。

単元	目 標	観点別評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
いろいろな鬼遊び	・逃げ方や捕まえ方を工夫して、いろいろな鬼遊びをする。	・鬼遊びの行い方がわかる。 ・相手（鬼）にタッチされないように、空いている場所を見付けて、速く走ったり、急に曲がったり、身をかわしたりすることができる。 ・相手（鬼）のいない場所に移動したり、駆け込んだりすることができる。 ・少人数で連携して相手（鬼）をかわしたり、走り抜けたりすることができる。 ・逃げる相手を追いかけてタッチしたり、マーク（タグなど）を取ったりすることができる。	・楽しく鬼遊びをするための遊び方や規則の中から、自分の力に合った遊び方や規則を選んでいる。 ・少人数で連携して相手(鬼)をかわしたり、走り抜けたりする行い方について、動作や言葉で友達に伝えている。	・鬼遊びに進んで取り組んでいる。 ・順番や規則を守り、誰とでも仲よくしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・使用する用具等の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・危険物が無いか、安全にゲームができるかなどの場の安全に気を付けている。

単元	目 標	観点別評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ボール投げゲーム	・ボールの投げ方や、的の狙い方を工夫して、ボール投げゲームをする。	・的に当てるボール投げゲームの行い方がわかる。 ・ねらったところにボールを投げて、的に当てたり得点したりすることができる。 ・ボールを手で捕ったり、手や足ではじいたりすることができる。 ・ボールが飛んでくるコースに入ることができる。 ・ボールを操作できる位置に動くことができる。	・楽しくボール投げゲームをするための規則の中から、自分の力に合った規則を選んでいる。 ・的に当てるためのボールの投げ方や攻め方を話し合って考えている。 ・友達がしているよい動きを見付けて、友達に伝えている。 ・ボールを捕ったり止めたりすることやコースへの入り方など、自分で考えて行った工夫を、動作や言葉で友達に伝えている。	・ボール投げゲームに進んで取り組んでいる。 ・順番や規則を守り、誰とでも仲よくしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・使用する用具等の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・危険物が無いか、安全にゲームができるかなどの場の安全に気を付けている。

単元	目 標	観点別評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ボール蹴りゲーム	・蹴り方や攻め方を工夫して、的当てゲームをする。	・的に当てるボール蹴りゲームの行い方がわかる。 ・ねらったところにボールを蹴って、的に当てたり得点したりすることができる。 ・ボールを手や足で止めたりはじいたりすることができる。 ・ボールが飛んでくるコースに入ることができる。 ・ボールを操作できる位置に動くことができる。	・楽しくボール蹴りゲームをするための規則の中から、自分の力に合った規則を選んでいる。 ・的に当てるためのボールの蹴り方や攻め方を話し合って考えている。 ・友達がしているよい動きを見付けて、友達に伝えている。 ・ボールを捕ったり止めたりすることやコースへの入り方など、自分で考えて行った工夫を、動作や言葉で友達に伝えている。	・ボール蹴りゲームに進んで取り組んでいる。 ・順番や規則を守り、誰とでも仲よくしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・使用する用具等の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・危険物が無いか、安全にゲームができるかなどの場の安全に気を付けている。

単元	目 標	観点別評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ボール運び鬼	・走り方や攻め方を工夫して、ボール運び鬼をする。	・ボール運び鬼の行い方がわかる。 ・相手（鬼）にタグを取られないように、空いている場所を見付けて、速く走ったり、急に曲がったり、身をかわしたりすることができる。 ・相手（鬼）のいない場所に移動したり、駆け込んだりすることができる。 ・少人数で連携して相手（鬼）をかわしたり、走り抜けたりすることができる。 ・逃げる相手を追いかけてタグを取ることができる。	・楽しくボール運び鬼ができるための遊び方の中から、自分の力に合った規則を選んでいる。 ・タグを取られずに、ボールをゴールまで運ぶための攻め方を話し合って考えている。 ・少人数で連携して相手(鬼)をかわしたり、走り抜けたりする行い方について、動作や言葉で友達に伝えている。	・ボール運び鬼に進んで取り組んでいる。 ・順番や規則を守り、誰とでも仲よくしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・使用する用具等の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・危険物が無いか、安全にゲームができるかなどの場の安全に気を付けている。

F 表現リズム遊び

〔学習指導要領の内容〕

- (1)次の運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、題材になりきったりリズムに乗ったりして踊ること。
- ア 表現遊びでは、身近な題材の特徴を捉え、全身で踊ること。
- イ リズム遊びでは、軽快なリズムに乗って踊ること。
- (2)身近な題材の特徴を捉えて踊ったり、軽快なリズムに乗って踊ったりする簡単な踊り方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えること。
- (3)運動遊びに進んで取り組み、誰とでも仲よく踊ったり、場の安全に気を付けたりすること。

単元	目 標	観点別評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
表現遊び	・いろいろな生き物になりきって全身で楽しく踊る。	・表現遊びの行い方がわかる。 ・いろいろな生き物の特徴や様子を具体的な動きでいくつか捉え、跳ぶ、回る、ねじる、這う、素早く走る、高・低の差や速さに変化のある動きなどの全身の動きで即興的に踊ることができる。 ・動きの中に急変する場面を入れて、簡単な話にして続けて踊ることができる。	・いろいろな生き物の特徴的な様子を捉え、表現したい動物の動きを選んでいる。 ・友達のよい動きを見付けたり、考えたりしたことを発表などで友達に伝えている。	・表現遊びに進んで取り組んでいる。 ・表現遊びに取り組む際に、誰とでも仲よくしている。 ・場の設定や使った用具の片付けを、友達と一緒にしている。 ・友達とぶつからないように周りの安全に気を付けて踊っている。

単元	目 標	観点別評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
リズム遊び	・リズムに乗って弾んで踊ったり、友達と一緒に踊ったりする。	・リズム遊びの行い方がわかる。 ・へそ（体幹部）でリズムに乗って、スキップなどで弾む動きを中心に、ねじる、回る、移動するなどの動きを繰り返して即興的に踊ることができる。	・手をたたいたり、ジャンプしたりなどの動きを取り入れたりして工夫している。 ・友達のよい動きを見付けたり、考えたりしたことを発表などで友達に伝えている。	・リズム遊びに進んで取り組んでいる。 ・リズム遊びに取り組む際に、誰とでも仲よくしている。 ・場の設定や使った用具の片付けを、友達と一緒にしている。 ・友達とぶつからないように周りの安全に気を付けて踊っている。